

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城北中学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

## ■ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ■ 調査期日

令和7年4月17日（木）

## ■ 調査の対象学年

3年生生徒全員

## ■ 調査の内容

### （1）教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

### （2）生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

## 領域別平均正答率(%)

	言語の特徴や使い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
本校	53.7(↑)	51.7	51.4(↓)	59.3(↓)
佐賀県	46.3	51.4	51.6	60.1
全国	48.1	53.2	52.8	62.3

## 観点別平均正答率(%)

	知識・技能	思考・判断・表現
本校	53.7(↑)	53.5(↓)
佐賀県	46.3	53.7
全国	48.1	55.3

## 【本校の結果の傾向・特徴】

全体の平均正答率は53.0で県平均と全く同じですが、全国の54.3に対して1.3ポイント下回りました。知識・技能については全国を5.6上回りますが、記述式の問題でやや無解答率が高く、正答率も低くなっています。条件をよく読み、それに合わせて適切に答える力が不足しています。

## 【成果と課題】

言語に関する事項で、県平均と全国平均をともに上回っているのは、定期的実施している小テストの成果だと思われます。また、ワークブックを使った語句・語意指導なども継続して行っていますので、基礎的な知識・技能のポイントが高いことにもつながっています。ただ、「書くこと」「読むこと」での正答率の低さとして、作文において条件に沿っていないことが挙げられます。また、書くことに苦手意識を持っていたり、読む力が不十分なため質問自体が読み取れていなかったりする場合があります。「表現の効果」について考える問題の正答率が低いことから、書かれていることを表面的に受け取るだけでなく、読み手にどのような印象を与えるか、文脈の中でその語句がどのような意味を持つのかを考える力が必要です。

## 【学力向上のための取り組み】

(学校では) 定期的実施している小テストや、ワークブックを使った語句・語彙指導は継続して実施すると同時に、文脈の中での語句の意味を考える指導をしていきます。また、表現の効果に着目する指導も行い、語彙指導を徹底したいと考えます。と同時に、単元学習において、学習課題について条件を取り入れた文章を書いたり、課題そのものの読み取り方について指導をしたりしながら、「何を聞かれ、何について、どう答えればよいのか」を、自分で考え、判断する場面を設定していきます。

(ご家庭では) お子さんとの会話でも、「何が」「どのように」「どうした」など、正しく説明させるようことを意識させてください。また、家庭学習が減っている傾向にありますので、学習時間をきちんと確保できるような声かけや環境づくりをお願いいたします。

## 領域別平均正答率(%)

	数と式	図形	関数	データの活用
本校	37.7	37.4(↓)	47.4	59.3(↑)
佐賀県	37.7	41.8	45.8	56.7
全国	43.5	46.5	48.2	58.6

## 観点別平均正答率(%)

	知識・技能	思考・判断・表現
本校	52.1	31.5(↓)
佐賀県	51.0	34.1
全国	54.4	39.1

## 【本校の結果の傾向・特徴】

本校の全体正答率は44.0となり、全国正答率48.3を4.3ポイント下回る結果となりました。「データの活用」の領域は、全国正答率よりも0.7ポイント上回っていました。一方で、「数と式」領域においては、全国正答率よりも5.8ポイント下回っていました。「図形」領域においては、9.1ポイント隔たりがありました。

## 【成果と課題】

今年度の結果は、全国平均を下回っていましたが、県平均正答率と比較すると、平均正答率は44.0で本校正答率と同一で、「関数」領域においては1.6ポイント、「データの活用」領域においては2.6ポイント上回っていました。数学的な事象を説明したり、四角形が平行四辺形であることを証明したりする問題に対する無回答率が30%を上回っており、基本的な説明を、自分の言葉で書く取組が必要です。

## 【学力向上のための取り組み】

## 【学校では】

- 单元ごとに单元シートを作成し、その单元で身に付けたい力やどのような過程で学習していくかを提示していくことで、見通しをもって粘り強く学習に取り組むことができるようにしていきます。
- 『学び合い』の授業に取り組み、授業の中で全員達成を目指し、学習内容の理解を図るとともに、周りに伝える場面を設定していきます。
- 授業の2分前から計算プリントに取り組むことで課題である「数と式」における基礎計算力の向上を図っていきます。

## 【ご家庭では】

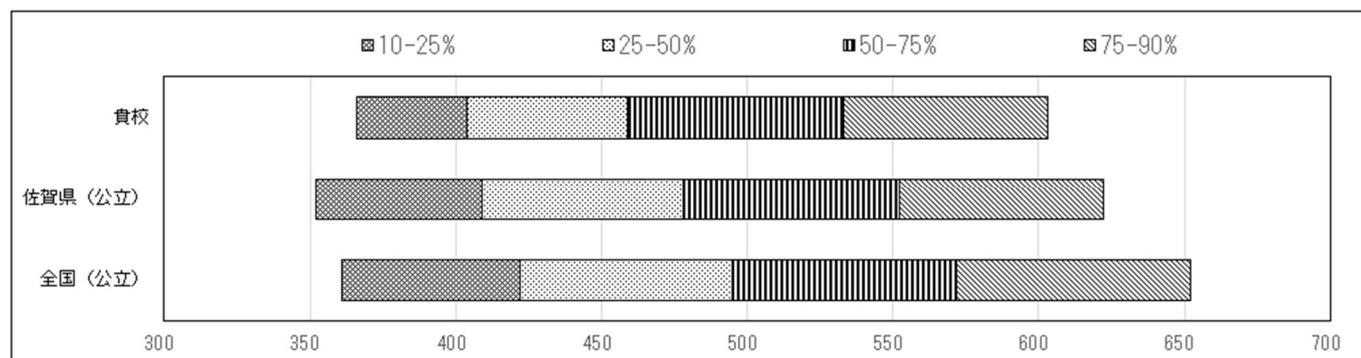
- 学習内容の定着のためには、復習とその継続が欠かせません。家庭学習の時間を確実に設け、習慣化してほしいと思います。
- 練習問題やテストなどでの間違いをそのままにせず、事後の直しを大事にしてほしいと思います。また、より理解を深めるために、類似問題や発展的な問題に取り組むことも大切にしてほしいと思います。

IRT=その人の本当の学力(能力)を統計的に推定する方法。「この生徒が、教科の問題をどのくらいの難易度まで安定して解ける力を持っているか、を測る。

### IRT スコア集計値 (Item Response Theory) 項目反応理論

	平均 IRT スコア	標準偏差
本校	472	97.7
佐賀県	485	112.6
全国	503	124.0

### IRT スコアグラフ



#### 【本校の結果の傾向・特徴】

本校では、全員達成の『学び合い』に取り組んでいます。生徒たちも全員が分かるまで教える、聞くという気持ちをもって取り組んでいるのが分かります。その結果として、分からない生徒が分かるようになる『学び合い』(1→2、2→3になる『学び合い』)は上手になっています。逆に3→4、4→5になる『学び合い』になるための工夫が必要であると考えています。

#### 【成果と課題】

今後の課題として、次の点が挙げられます。

- ・実験と学習内容、日常生活を結び付ける問いを提示すること。気体の収集方法を理解して学習を終えるのではなく、気体の密度と関連付けてどの方法を選択すべきかを考えるような課題を提示することが必要だと考えています。

また、『学び合い』を深めるための内部資源となる知識をつける時間も必要であると考えます。

#### 【学力向上のための取り組み】

生徒の『学び合い』を活性化させるために、内部資源となる知識を身につける『学び合い』とその知識を活用して課題を解決する『学び合い』を両立するようにします。

理科が不得意である生徒が興味・関心をもてるよう『学び合い』は継続しつつ、得意な生徒の力を伸ばすために段階的に難易度を変えた問題を提示して、生徒が選択して取り組めるようにします。